

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38636
事業名	困難を抱える若年女性支援費					
評価担当課	所 属	子)子ども育成 子ども企画課			電話番号	011-211-2982
施策名	若者は、質の高い教育などを通して成長するとともに、安心して過					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	「令和元年6月死亡事例に係る検証報告書」における「思春期・若年期の女性に焦点を当てた支援制度の創設」という提言を受け、令和3年8月より事業を実施。困難を抱えながらも支援の網の目からこぼれ、より困難な状況に陥っている(恐れのある者も含む)若年女性が、安定して生活を送ることができるように、必要な支援に繋ぐことを目的としている。令和6年4月からは「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行となり、民間団体と連携の上、困難に直面する女性の自立に向け支援することが、社会的にも求められている。					
	事業内容 (何を実施し)	様々な悩みや困難を抱えた主に10代後半から20代の思春期・若年期の女性を対象とした支援として、以下を実施。この内、①～③を委託により実施している。 ①アウトリーチ支援(SNSによるアプローチ、繁華街での夜間見回り、面談からの関係機関等へのつなぎ) 夜間見回り:12回、夜間見回り声かけ人数:301人 SNS見回り:51回、SNS見回り声かけ人数:983人 相談及び面談の実施状況:144人 ②居場所の確保(一時的な「安心・安全な居場所」の提供) 短期:6回、長期:1回 ※合計泊数:約28泊 ③自立支援(学校や家族との調整、就労支援など自立に向けた支援) 計画策定人数:1人 ④関係機関との連携(行政機関、民間団体などの関係機関の連携会議を設置) 関係機関と連携した人数:10人 ※複数機関当てはまる場合は、重複して計上。					
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	困難を抱える若年女性が必要な支援に繋がり、自立した生活を送る。 支援に繋がらなかった結果として、将来的に起こる可能性のある児童虐待を防止する。					
	他都市の状況	・東京都若年被害女性等支援事業⇒平成30年度から実施(R5年度より補助事業化し、5団体を補助) ・福岡県困難を抱える若年女性支援事業⇒令和元年度から1団体に委託して実施 ・山口県つながりサポート事業⇒令和5年4月より1団体に委託して実施 ・横浜市若年女性支援モデル事業⇒令和6年2月より1団体を補助					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
	令和4年度決算額		17,797 千円	うち特定財源	8,898 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額		19,000 千円	うち特定財源	9,000 千円	正規職員業務量	0.4 人工	
令和5年度決算額		18,724 千円	うち特定財源	8,938 千円	正規職員業務量	0.4 人工	
令和6年度予算額		18,000 千円	うち特定財源	9,000 千円	正規職員業務量	0.4 人工	
指標	アウトプット 活動指標1	本事業に接点を持った若年女性の延べ人数(累計)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1,890人	3,590人	3,174人	5,290人	6,990人	8,690人
	↓						
	アウトカム 成果指標1	相談など繋がりを持てた若年女性の実人数(累計)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		225人	375人	369人	525人	675人	825人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は、SNSパトロールのツールであるXの仕様変更により様々な制限が設けられ、メッセージ送付件数も制限されたため、接点を持った若年女性の数は減少となったが、今後もアウトリーチ支援の継続を行うとともに周知方法の検討を行い、支援の必要な若年女性が相談に繋がることが出来るよう、取り組む。					
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
↓							
アウトカム 成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	事業周知の方法について、Google広告を期間限定で実施した。また、地下鉄駅構内の女性用トイレ及びバリアフリートイレへのステッカー貼付の実施を調整中。						
来年度以降の方向性	現状の事業を継続して行いつつ、周知方法について新たな手法を検討する。						